

# 設定画面へのアクセス

|                     |    |
|---------------------|----|
| 設定の準備               | 2  |
| 設定環境                | 2  |
| コンピューターの IP アドレスの変更 | 2  |
| JavaScript の有効化     | 4  |
| 設定の開始（ログイン）         | 7  |
| 設定の適用と終了（ログアウト）     | 8  |
| ナビゲーション             | 9  |
| 水平タブ                | 9  |
| 垂直タブ                | 9  |
| ドロップダウンメニュー         | 10 |
| オンラインヘルプ            | 12 |

## 設定の準備

### 設定環境

本製品の設定は Web ブラウザーから行います。下記の Web ブラウザーがインストールされたコンピューターを用意してください。

- Windows Internet Explorer Version 7 または 8
- JavaScript を使用

☞ 設定用コンピューターで JavaScript を無効にしている場合は、「JavaScript の有効化」を参照してください。本製品へのアクセスに対してのみ、JavaScript を有効にします。

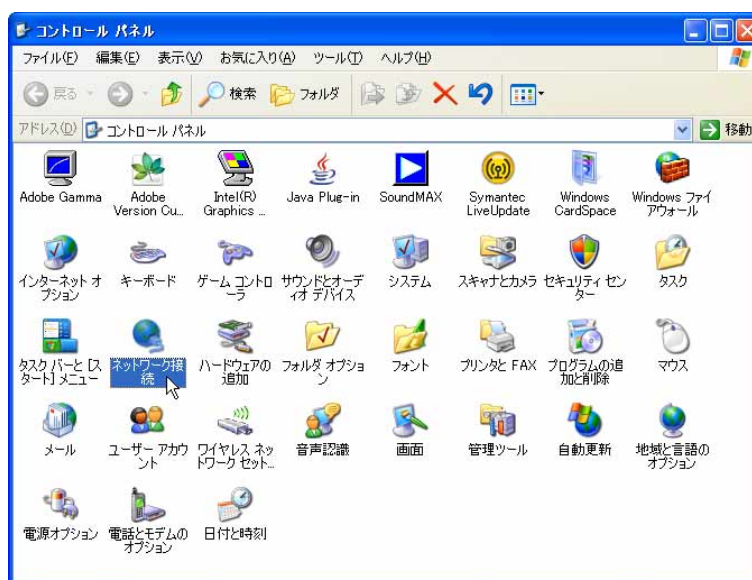
また、本製品ご購入時の IP アドレスは下記のとおりです。

- 192.168.1.230

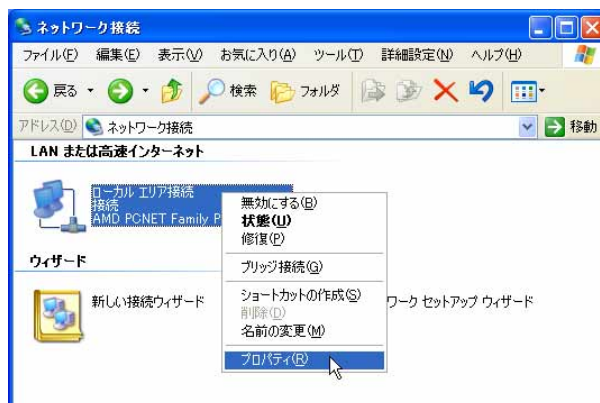
### コンピューターの IP アドレスの変更

設定用コンピューターの IP アドレスを、本製品の IP アドレスの設定に合わせて変更します。ここでは、Windows XP を使用する場合を例として説明します。

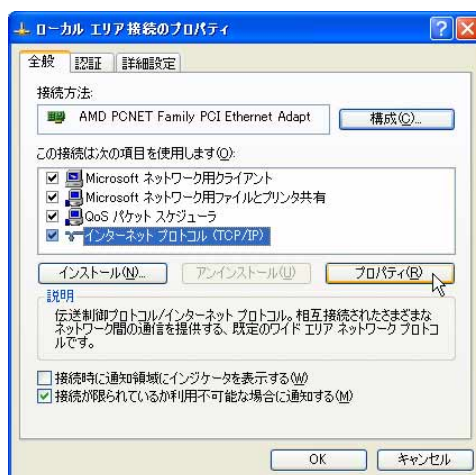
1. 「スタート」→「コントロールパネル」の「ネットワーク接続」アイコンをダブルクリックしてください。



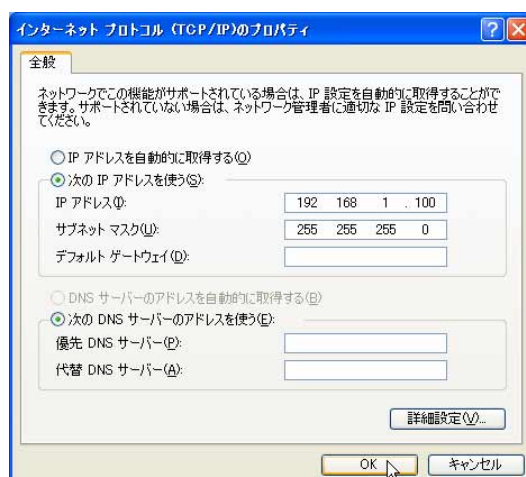
2. 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。



3. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。



4. 「IP アドレス」と「サブネットマスク」に値を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。「IP アドレス」には「192.168.1.xxx」(xxx は、230 を除く 1 から 254 までの値) を、「サブネットマスク」には「255.255.255.0」を設定します。変更前の IP アドレスは、メモを取るなどして記録し、本製品の設定後に、もとの値に戻せるようにしてください。



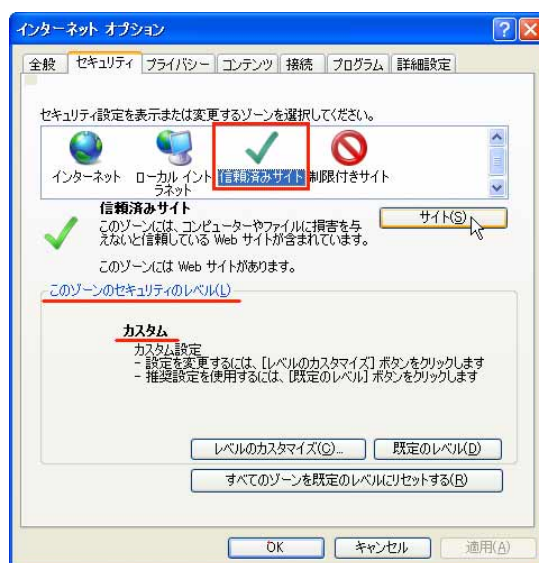
5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウに戻ります。「OK」をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

## JavaScript の有効化

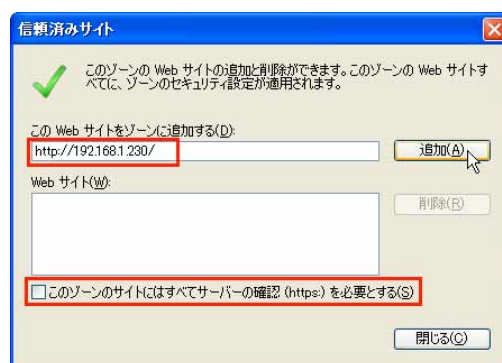
ご使用の Internet Explorer で JavaScript を無効に設定している場合、以下の設定を施すと、本製品にアクセスするときのみ JavaScript を有効にすることができます（他のセキュリティ設定に影響を与えません）。Internet Explorer Version 8 の例を示しますが、Version 7 でも同様です。

🔗 ご使用の Internet Explorer で JavaScript を有効に設定している場合、以下の設定は不要です。

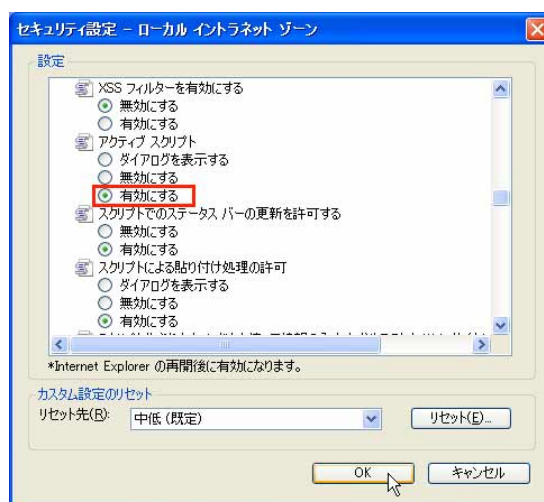
1. Internet Explorer のメニューから「ツール」→「インターネットオプション」をクリックしてください。
2. 「セキュリティ」タブをクリックしてください。「信頼済みサイト」を選択しておき、「サイト」ボタンをクリックしてください。



3. 「http://192.168.1.230/」を入力し、「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを外してから、「追加」ボタンをクリックしてください。「Web サイト」欄に「http://192.168.1.230」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。「信頼済みサイト」ダイアログボックスが閉じます。



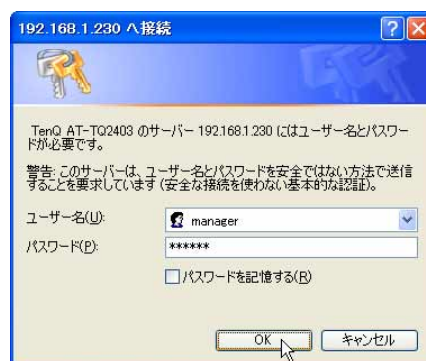
4. 「インターネットオプション」ダイアログボックス (手順 2) の「このゾーンのセキュリティレベル」が「カスタム」になっている場合は、「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックして、「アクティブスクリプト」が「有効にする」になっていることを確認してください。



5. 「インターネットオプション」ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックしてください。「インターネットオプション」ダイアログボックスが閉じます。
6. Internet Explorer を再起動してください。本製品に対してアクセスするときのみ、JavaScript が有効になります。

## 設定の開始（ログイン）

1. 設定用コンピューターと本製品が正しく接続されていることを確認し、Web ブラウザーを起動してください。
2. Web ブラウザーの「アドレス」に「http://192.168.1.230/」と入力し、「Enter」キーを押してください。
3. パスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、「OK」をクリックしてください。入力したパスワードは、「\*」で表示されます。

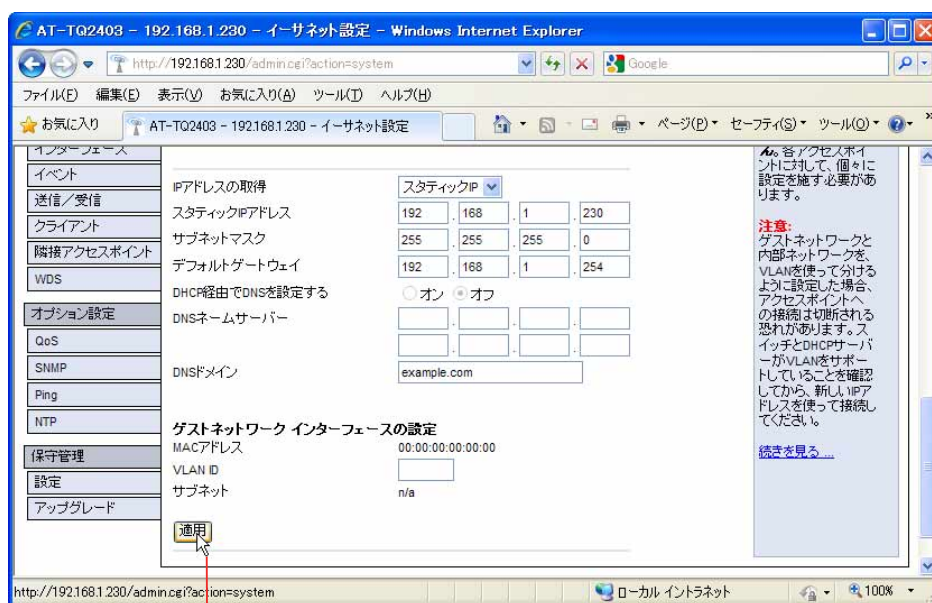


🔑 「ユーザー名」は「manager」、ご購入時（デフォルト）の「パスワード」は「friend」です。

4. Web 設定画面が表示されます。初期画面は「基本設定」画面です。

## 設定の適用と終了（ログアウト）

1. 各ページで設定内容を入力したら、ページを移動する前に、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。「適用」ボタンをクリックすると、現在の設定画面における設定内容は直ちに適用（保存）されます。



各設定画面で「適用」ボタンをクリック

2. 各ページの設定がすべて終了したら、Web ブラウザーを終了してください。自動的にログアウトされます。



## ナビゲーション

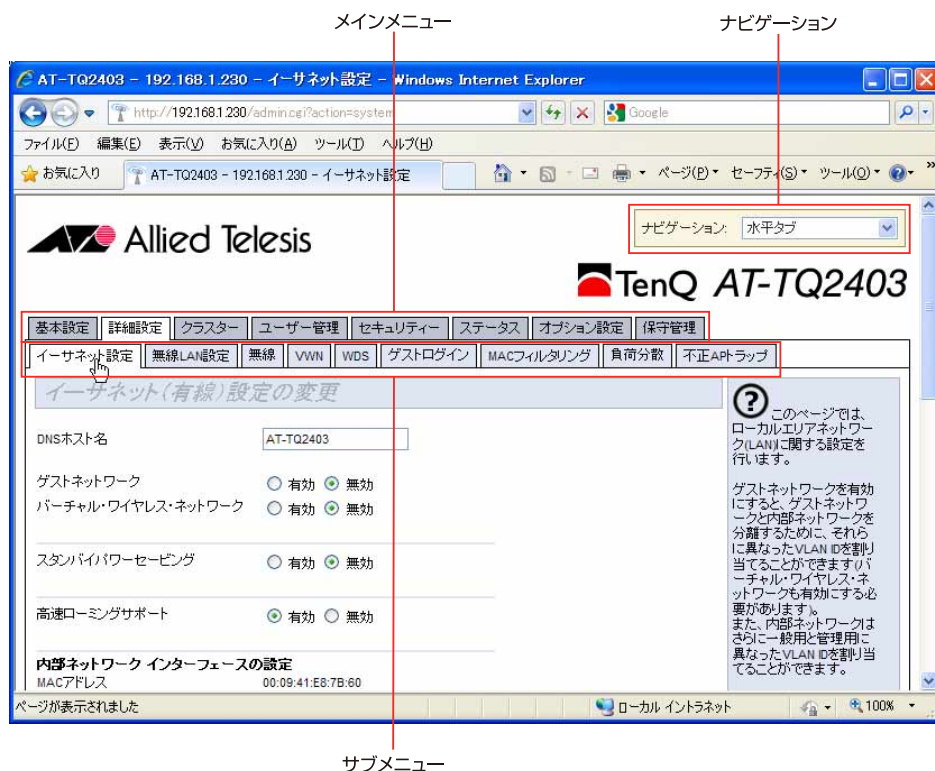
Web 設定画面は、次の3つのメニュー表示の形式（ナビゲーション）を持ち、画面右上のプルダウンメニューで変更することができます。ナビゲーションの設定は、クッキーとして設定用コンピュータに保存されます。

- 水平タブ
- 垂直タブ
- ドロップダウンメニュー（デフォルト）

🔗 ナビゲーションの設定後に本製品の IP アドレスを変更すると、ナビゲーションが「ドロップダウンメニュー」に戻ります。変更後の IP アドレスでナビゲーションを再設定してください。ただし、ナビゲーションの設定は IP アドレスごとにクッキーとして保存されていますので、変更後の IP アドレスで以前ナビゲーションの設定をしたことがあれば、そのときに設定したナビゲーションとなります。

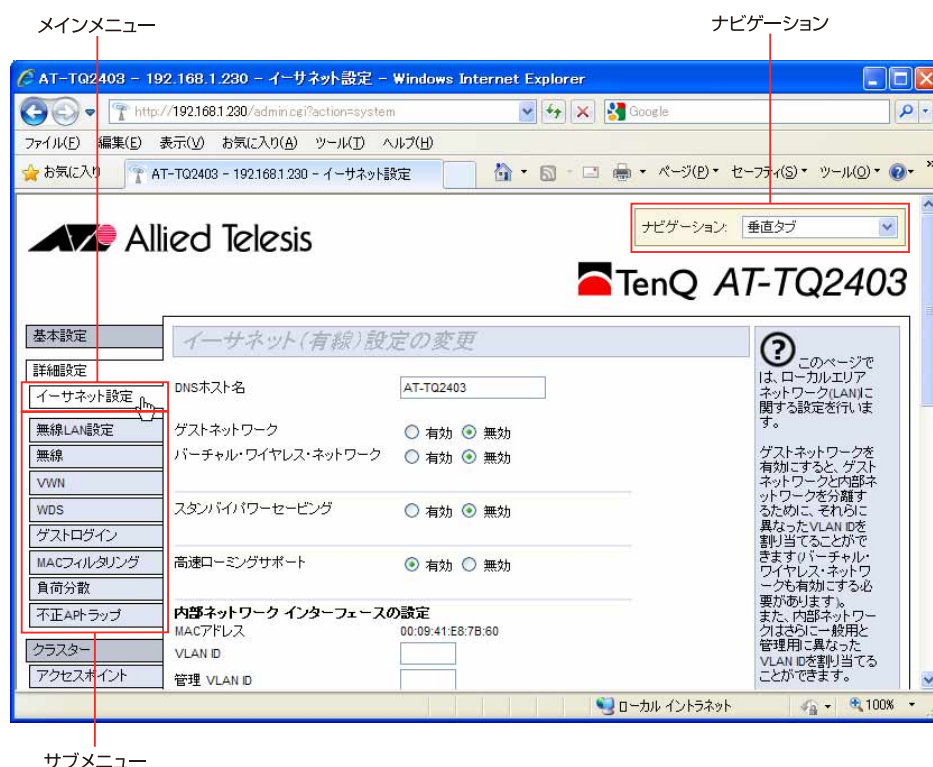
### 水平タブ

メインメニューをクリックすると、サブメニューが表示されますので、サブメニューの中から希望の項目をクリックしてください。



### 垂直タブ

メインメニューの下に、サブメニューが常に展開された状態で表示されます。サブメニューの中から希望の項目をクリックしてください。



## ドロップダウンメニュー

メインメニューをポイントすると、サブメニューが表示されますので、サブメニューの中から希望の項目をクリックしてください。



## オンラインヘルプ

設定画面の右側には、画面の概要が表示されます。さらに、詳しい説明が必要な場合は、画面右下の「続きを見る...」リンクをクリックしてください。各項目について説明した詳細なオンラインヘルプが表示されます。

📎 「設定の適用と終了（ログアウト）」を参照してください。「続きを見る...」リンクの例があります。

AT-TQ2403 オンラインヘルプ 3.4 - Windows Internet Explorer

詳細目次

設定画面へのアクセス

- 1: 設定の開始(ログイン)
- 2: 設定の適用と終了(ログアウト)
- 3: ナビゲーション

基本設定

- 4: 基本設定

詳細設定

- 5: インサネット設定
- 6: 無線LAN設定
- 7: 無線
- 8: VWN
- 9: WDS
- 10: ゲストログイン
- 11: MACフィルタリング
- 12: 負荷分散
- 13: 不正APトラップ

クラスター

- 14: アクセスポイント
- 15: セッション
- 16: チャンネル自動管理
- 17: 隣接アクセスポイント

ユーザー管理

- 18: ユーザー管理
- 19: ユーザーデータページ

セキュリティ

- 20: セキュリティ

ステータス

- 21: インターフェース
- 22: イベント

AT-TQ2403 オンラインヘルプ 3.4

### 詳細設定/VWN

バーチャル・ワイヤレス・ネットワーク(VWN)は、本製品上に仮想的なアクセスポイントを作り出す機能です。VWNとVLANを組み合わせることにより(VLAN IDごとにSSIDを割り当てることにより)、1台の本製品をあたかも複数のアクセスポイントが存在するように動作させることができます。最大14個のバーチャル・ワイヤレス・ネットワークが使用でき、推奨5個まで。

1. 「バーチャル・ワイヤレス・ネットワーク」が「有効」になっていることを確認してください。「無効」の場合は、このリンクをクリックし「インサネット設定」画面の「バーチャル・ワイヤレス・ネットワーク」を「有効」にしてください。
2. 希望のVWN番号の「有効」にチェックを入れます。
3. 「VLAN ID」に、他のVLAN IDと重複しない数値を入力します。
4. 「SSID」「最大ステーション数」「SSIDのブロードキャスト」「セキュリティ」を設定します。「セキュリティ」については、「セキュリティ」を参照してください。これらの設定は、無線1、2の両方に適用されます。
5. 「適用」ボタンをクリックしてください。

**Note** - VWN機能は、WDS機能と併用できません。

**Note** - VWN機能を使用する場合は、「詳細設定」「無線」画面のExtended Rangeを「無効」に設定してください。

**Note** - 有効なVWNの数が増えると、本製品のCPUの負荷が高くなりスループットが低下します。有効にするVWNの数は、5個までをすることをお勧めします。

**Note** - 有効なVWNの数が増えると、MACフィルタリングの設定が、すぐに反映されることがあります。VWNとMACフィルタリングを併用する場合は、MACフィルタリングの設定後に本製品を再起動してください。

**Note** - 各々のVWNを有効にし、いったん無効してから再度有効にすると、VWNの設定のうち、VLAN IDの設定だけが削除されます。SSIDやセキュリティなどの設定は残ります。

表 1

| 項目名 | 説明                           |
|-----|------------------------------|
| VWN | バーチャル・ワイヤレス・ネットワークの番号1～14です。 |